

## 高津区市民提案型協働事業 事業提案・計画書

(宛先) 高津区長

団体名 ○○○○○の会

代表者 高津 花子

市民提案型 新規 継続(平成 年度～)

提出書類：②団体の定款等、③団体の前年度活動報告書、④団体の前年度収支決算書、  
⑤団体の会員名簿又は役員名簿、⑥団体に関する申出書(法人以外の団体のみ)、⑦事業  
 提案書作成時確認シート、⑧経費確認シート、⑨その他

## 1 提案内容

①事業名	みんなで作ろう！高津の名産品	
②事業の目的・ 必要性  なぜこの事業が必要か、どのような地域課題の解決が図られるのかなど。	<p>川崎市は市内産業の振興や川崎のイメージアップを目的に、平成16年度から「かわさき名産品認定事業」に取り組み、現在、96品が登録されている。しかしながら、菓子類を区別にみると、川崎区17品、幸区7品、中原区13品、宮前区5品、多摩区7品、麻生区7品に対し、高津区は1品しか認定されていない。</p> <p>区民協働で高津区らしい菓子を作り、かわさき名産品に認定されることで、区民の郷土愛を強くすることを目指す。</p>	
③協働の必要性・ メリット  なぜ、区と協働で実施したいのか、協働することの必要性を記入してください。 また、区民・団体・区のメリットをそれぞれ具体的に記入してください。	必要性	<p>高津区を代表する名産品(菓子)が1品しか認定されていないのは、地域資源がたくさんある高津区にとって大変な損失であり、手土産品などとして需要の高い菓子類で、早急に名産品を作る必要がある。</p>
	メリ ッ ツ ト	<p>(区民のメリット：区民が受けられるサービスや解決される課題など) 高津区を代表する菓子を作ることで、区民の郷土愛を強くし、また手土産などで利用することで高津区の特長を広く周知することができる。</p> <p>(団体のメリット：行政が持つ情報等の活用や信頼性の確保など) 行政が持つ地域資源の情報を活用し、また行政が関係団体への連絡・調整を行うことで、信頼性が確保され、事業を円滑に実施できる。</p>
		<p>(区のメリット：団体が持つ専門性やノウハウの活用など) 市民団体が名産品の候補を絞り、菓子店がそれを形にすることにより、より完成度の高い菓子を作ることができる。</p>
④事業のアピール ポイント  この事業の先駆性、先進性、創意工夫、事業の売りや熱い想いなどアピールできることを記入してください。	<p>市民団体・菓子店が高津区の名産品の候補を作り、市政だより高津区版で区民の投票を経て決定することで、区民が欲しい唯一無二の名産品を作ることができる。</p> <p>また、高津区民だけでなく、区外の人達に対しても、高津区の魅力を発信することができる。</p>	

<p>⑤事業概要・計画</p> <p>スケジュール・執行体制など時系列、箇条書きで具体的に記入してください。</p>	目標	平成29年中に高津区の名産品を決定し、平成30年度から新たに認定される「かわさき名産品認定事業」にエントリーし、無事認定されることを目標とする。		
	対象	すべての高津区民		
	場所	高津区内		
	手法	市民団体が高津区の地域資源を調べ、それを菓子店に伝え、一緒に名産品の候補を数点作る。市政だより高津区版に候補を掲載し、区民の投票を得て、高津区の名産品（菓子類）を決定する。		
		受益者負担の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	
	スケジュール	<p>平成29年4月 関係者顔合わせ</p> <p>5月～6月 菓子のテーマになりそうな地域資源を調べる</p> <p>7月～9月 菓子店による菓子の創作</p> <p>9月 候補作選定ワークショップの開催</p> <p>11月 市政だより高津区版にて投票</p> <p>12月 高津区の名産品（菓子類）の決定</p> <p>平成30年1月 かわさき名産品認定事業にエントリー</p> <p>3月 結果発表</p>		
	執行体制	<p>（総括責任者、事業ごとの責任者やそれぞれの専門性について）</p> <p>高津区民クラブ（高津花子） 事業総括、地域資源の調査</p> <p>菓子匠 みすず（橘三蔵） 菓子（和菓子）の創作</p> <p>パティスリーよしこ（溝口良子） 菓子（洋菓子）の創作</p>		
事業効果	<p>本事業の実施により、区民にとっては高津区を紹介する名産品がひとつ増え、区民でない人にとっては高津区の魅力を知る機会が増える。幾つかの候補から区民が直接選ぶことにより、区民の名産品に対する思いも強くなり、地域経済の発展にもつながる。</p>			
⑥役割分担	<p>（団体の役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の調査</li> <li>・菓子の創作</li> <li>・かわさき名産品認定事業へのエントリー</li> </ul>			
団体、区の役割を具体的に記入してください。	<p>（区の役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源に関する情報提供</li> <li>・市政だより高津区版での広報</li> <li>・関係団体との連絡調整</li> </ul>			

<p>⑦他団体との連携</p> <p>この事業に関し、自治会・地域団体・他の市民活動団体等と連携の実績や予定があれば記入してください。</p>	<p>地域資源をどのように菓子に昇華させるかについての具体的な手法については、かわさきの名産品を多く手がけている「だんご屋おはち」「木村洋菓子店」に協力を依頼する予定。</p>
<p>⑧事前調査の有無</p> <p>ニーズの把握、他都市の事例など調査したことがあれば記入してください。</p>	<p>かわさき名産品に認定されている高津区の名産品は全部で7つあるが、菓子（かりんとまんじゅう）のほかは、酒5品、その他1品（漆塗りタンブラー）である。</p>
<p>⑨事業実施後の展望</p> <p>次年度以降の提案事業の展望や、事業の成果をどのように活かしていくのか記入してください。</p>	<p>平成30年度以降は、かわさき名産品として、販売する。なお、認定されなかったとしても、本事業で決定した名産品は販売する予定。</p>

## 2 事業提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ○○○○ノカイ		
	○○○○○の会		
②所在地	〒 213-0000 高津区○○3丁目5番6号		
③ホームページ	http://		
④連絡担当者 及び連絡先	担当者	高津 花子	(役職) 会長
	電話	○○○-○○○○	(連絡可能な時間帯) 18時~20時
	FAX	○○○-○○○○	e-mail
	住所	〒213-0000 高津区○○3丁目5番6号	
⑤設立年月	平成28年 4月	(法人格取得年月)	年 月)
⑥会員の状況	個人会員 18人	(うち高津区民 15人)	団体会員 3団体
⑦団体の活動目的	高津区を代表する菓子を作るために結成。 高津区民クラブ(平成2年設立) 市民記者、ミニコミ誌「高津っ子」発行 菓子匠 みすず(昭和35年創業)和菓子店の経営、和菓子の作成 パティスリーよしこ(昭和55年創業)洋菓子店の経営、洋菓子の作成		
⑧活動内容 ・活動実績			主な活動地域 高津区
	高津区を代表する菓子を作るために結成。		
⑨提案事業との関わり	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな事業 <input type="checkbox"/> 今までの活動の拡大 <input type="checkbox"/> 今までの活動と同規模		
⑩活動体制  活動に携わるメンバーを記入してください。 10人以上の場合は、主なメンバーを記入してください。	役職等	氏名	協働事業での役割
	①会長	高津 花子	事業全体の総括
	②副会長	橘 三蔵	菓子(和菓子)の創作
	③	溝口 良子	菓子(洋菓子)の創作
	④	○○ ○○	関係団体との調整
	⑤会計	○○ ○○	会計管理・収支決算報告の作成
	⑥	○○ ○○	地域資源調査
	⑦	○○ ○○	地域資源調査
	⑧	○○ ○○	関係団体との調整
	⑨	○○ ○○	記録
⑩	○○ ○○	記録	

### 3 収支予算書（高津区市民提案型協働事業のみの金額を記入してください）

総事業費 (100万円以内)	362,000円	区の支出	359,000円
		事業収入	3,000円

#### ①収入

金額単位：円

項目	予算額	内容
区の支出	C 359,000	市民提案型協働事業の委託料
事業収入	3,000	候補策選定ワークショップにおける参加費（@100円×30人）
収入合計	A 362,000	

#### ②支出

項目	予算額	うち区の支出分	積算単価のなど具体的な内容
人件費	120,000	120,000	菓子の候補作を作るための人件費 @1,500円×5h×2人×4日=60,000円（和菓子） @1,500円×5h×2人×4日=60,000円（洋菓子）
報償費	16,000	16,000	「だんご屋おはち」主人、「木村洋菓子店」パティシエールへの謝礼（@8,000円×2）
旅費	8,000	8,000	候補作の搬入（打ち合わせ及びワークショップ会場への搬入につき、タクシー利用@2,000円×2×2回）
消耗品費	200,000	197,000	菓子の候補策を作るための原材料費 （和菓子8万円、洋菓子12万円） うち、ワークショップ参加費を原材料費に充てる
印刷費	6,000	6,000	ワークショップ参加広報チラシ（500枚印刷予定）
通信運搬費	1,000	1,000	物品搬入等の配送料
保険料	6,000	6,000	候補策ワークショップ保険料（@200円×30人）
賃借料	5,000	5,000	候補策ワークショップ会場費（会場；にこぶら新地） 多目的スペースABを午後利用@5,000円
その他			
支出合計	B 362,000	D 359,000	

注) 収入合計Aと支出合計B、及び、区の支出Cと支出合計Dは同額となります。

注) 区の支出の他に、事業実施に際し、参加者に自己負担を求める場合は、収入・支出に明記し

てください。

※総事業費及び区の支出金額は、応募時点での団体からの提案額であり、提案団体と所管課との意見交換の中で変更される場合があります。

#### 4 川崎市暴力団排除条例に基づく調査

一次選考の際に、川崎市暴力団排除条例第7条に基づき調査を行ないます。団体の活動に関わるメンバーを記入してください。法人の場合は役員全員の記入をお願いします。

役職等	フリガナ 氏名	性別	生年月日	住所
①会長	高津 花子	女	S32.4.1	高津区〇〇3-3-3
②副会長	橘 三蔵	男	T14.2.11	高津区〇〇4-4-4
③	溝口 良子	女	S48.11.20	宮前区〇〇5-5-5
④	〇〇 〇〇	男	S60.4.6	高津区〇〇6-6-6
⑤会計	〇〇 〇〇	男	S38.1.2	多摩区〇〇7-7-7
⑥	〇〇 〇〇	女	H1.5.29	高津区〇〇8-8-8
⑦	〇〇 〇〇	女	S35.9.19	高津区〇〇2-2-2
⑧	〇〇 〇〇	女	S52.11.4	高津区〇〇1-1-1
⑨	〇〇 〇〇	男	S28.5.9	中原区〇〇9-9-9
⑩	〇〇 〇〇	男	S43.7.7	東京都世田谷区〇〇2-2-2